



こんにちは

白子の議会

です

第118号

平成27年11月5日

編集発行
千葉県白子町議会
☎0475(33)2169



▲ 小谷小修学旅行団を前に組体操を行う南白亀小児童

第3回 定例会

平成27年第3回定例会が9月16日から9月18日まで開催されました。
一般質問は、5名の議員が町政をただしました。

- 5議員が一般質問……………2～6ページ
- 認定・補正予算等の質疑応答……………7～8ページ
- こんなことが決まりました……………9～10ページ



一 般 質 問

町政をきく

地方創生の施策について

東海林 東治 議員

議員 地方人口ビジョンと地方版総合戦略に対する町の現状と課題について伺います。

将来における人口の推計値は存在していますが、具体的に地域における安定した雇用を創出し、どう地域に新しい人の流れを作るか等の施策を、人口増加の町村の実例に学び、取り入れ、検討していく必要があるかと思えますが見解を伺います。

人口戦略が最大の目的

町長 現在、アクションプランの作成中で、人口減少問題は、地域によって、状況、原因が異なり、今後は、机上論ではなく、現実味のあるものを作り上げる必要があると思っております。

多くの意見を集約し、

一緒に学んでいければと思います。

「稼ぐ力」「地域の総合力」「民の知見」について

議員 生産性の高い地域産業を創出していくためには、地域ブランドの確立や、観光業の強化だと思えます。

そのためにも地方版総合戦略で具体的方向を示し、また、研修を実施しながら人を育てる施策が必要です。

従来の縦割りを排し、官民共同で地域の政策関連を図る事で、本町の観光と農業の連携が生まれ、新たな六次産業へとつながっていくと思えます。

さらには、民間の創意工夫を大いに活用し、地域アプローチの施策を考え、官民協働で町づくり

をしていく必要があるかと思えますが、町長の見解を伺います。



たまねぎドレッシング

活力ある地域経済の構築

町長 生産性の高い活力にあふれた地域経済を構築する「稼ぐ力」、「地域の総合力」、「民の知見」を引き出すため、多くの知恵を集めていきたいと思っております。

農水業と観光業の連携体制の強化

議員 町の活性化を進める上で人材確保に力を入れるべきです。

また、ホテルの売店に白子の特産物やお土産品が少なく、朝市等も開催されていません。

観光客に多くの思い出を残すため、また、リピーターになってもらうためにも官民一体で取り組むべきだと思えますが見解を伺います。

農業と観光は町産業の土台

町長 我が町における地方創生の最も重要な課題であり、より強固な連携で活性化の牽引役を担ってもらいたいと思っております。

公共施設台帳整備と施設整備計画は

議員 公共施設の固定資産台帳を含む財政処理の作成には、インフラのデータの一元化が必要だと思えますが現状を伺います。

財政健全化へ

町長 今後、より最適な公共施設の取捨選択を検討していき作成していきます。

新地方公会計の整備について

宗島 理仁 議員

議員 地方公共団体の厳しい財政状況の中で、財政の透明性を高め、住民に対する説明責任をより適切に果たす事の重要性が高まってきています。

財政の効率化・適正化を図るため、従来からの現金主義・単式簿記による予算・決算制度に加えて、発生主義・複式簿記といった企業会計的手法を活用した財務書類の開示が推進されています。わが町でも導入に向け整備をしなければならぬと思います。現状を伺います。

早急に整備を開始する

町長 新地方公会計の整備は、複式簿記による電算システムの整備構築が不可欠であり、国から標準的なソフトウェアが提供される見込みです。

これらの事務は、膨大な作業を必要とするので、早急に整備開始ができるよう、準備を進めています。



固定資産台帳の整備について

議員 固定資産は、地方公共団体の財産の極めて大きい割合を占めるため、

財政状況を正しく把握するためには、正確な固定資産に係る情報が不可欠になっていくと思います。

しかしながら、影響が広範囲であり、システムの導入には相当な事務負担と経費が掛かるかと思えますが、固定資産台帳を導入していくうえで予算は確保されているのか。また、適切な財務書類を作成し、会計処理体制の充実・強化を図るためにも、継続的な人材育成が不可欠とされています。対応を伺います。

整備を進めていく

町長 固定資産台帳は整備されていない状況であります。

今回の一般会計補正予算で、固定資産台帳の整備業務委託料を計上しておりますが、今後、適正で効率的な評価方法等を検討していきながら、整備を進めていきたいと考えています。

地方版総合戦略の進捗状況について

議員 白子らしさを汲み上げ、地域の実情に応じた効果的、効率的な策定をしていかなければならないと思いますが、人口動向調査及び、分析の進捗状況はどのようなものか伺います。

また、地方版総合戦略を策定していくうえで、様々な方のヒアリング調査やアンケート調査を行っているかと思えますが、その対象範囲や内容について伺います。

白子らしさを全面に

町長 地方版総合戦略の進捗状況は、国立社会保障人口問題研究所の推計値や、日本創生会議の推計値に基づき、状況の分析を進めています。

白子らしさを全面に出した将来像を設定するため、子育てに関する項目や移住、定住等に関する住民の意識についてのアンケート調査を実施して

いるところです。

ふるさと納税について

議員 ふるさと納税についてはこれまで、利用しやすくするための施策、利用者確保のための広報の充実について伺ってきました。

その際に、地方創生と合わせて活用すると答弁されましたが、実際にふるさと納税を地方創生に活用するための施策についてどのように考えているのか見解を伺います。

定住促進につなげる

町長 人口減少や、少子化に歯止めをかけるための施策に活用し、若者の定住促進につなげていければと思っています。



防災対策の訓練と目的は

梅澤 哲夫 議員

議員 東日本大震災から 4 年半、大災害より立ち直れきれない今日、台風 18 号から変わった温帯低気圧の影響で、関東北部から東北部にかけて記録的な大雨に見舞われ、河川の氾濫などで本町の 1.5 倍にもなる 40 平方キロメートルで住宅、農地が浸水する甚大な被害が発生しました。

町において、本年度の防災訓練は、昨年の反省をもとにどのような課題で行なうのか伺います。

参加者の減少が 気がかり

町長 町の防災訓練は津波からの避難訓練として震災以後行なっており、他の行事を勘案し、10 月第 4 日曜日と決めてあります。

反省点としては、毎年

参加者が減って、23 年度 1660 人から昨年は 1020 人ほどにと、年々減少している事です。これについては強制出来ないで、啓発していきま

震災対策の現況は

議員 大震災以後、町においての防災対策事業についてどんな事業を行なったのか。先の常総市の災害対策本部が、低地にあつたため、一晚孤立するという事態が発生しております。

町における災害対策本部の設置場所や災害時の対応物資の貯蔵場所は適切なのか伺います。



対策本部は今のまま

町長 震災以後、防災行政無線のデジタル化、緊急避難ビルの指定、各種備品の蓄え、庁舎内の非常電源の整備や防災対策のパンフレット、ハザードマップの配布、万一役場が被害にあつても情報が無くならないようクラウドによる対策をしております。災害対策本部としては役場庁舎しかないと思ひます。

消防団員不足の 対策は

議員 災害発生時、活躍が期待される消防団において団員不足が言われております。団員獲得には現団員がメンバー集めをしているとのことですが、自治会をあげての加入方法はないか伺います。

新加入を求む

町長 現在 176 名の団員で構成されておりますが、団員の多くが会社勤

めと、常時家にいる状況ではない。

消防団加入に消極的な理由として、若い人達に時間的ゆとりがないこと、組織、集団での行動を十分に教えていない教育面での問題があると思ひます。

有事の際には頼りになる消防団ですので、団員になつて活動してほしいと思ひます。



自主防災について

議員 一部地区で結成している自主防災組織の内容と助成について伺います。

昨年度より助成

町長 自主防災組織は自分達で地域を守ろうとする組織で、32 自治区の内 11 自治区が取り組んでおります。

町からの助成は昨年か

ら、防災資材の購入、訓練活動費として出しております。

リベロ制度の内容は

議員 町と町民の意志交流の手段としてリベロ制度があります。行政と住民の連携をはかるためと、理想としては良いと思ひますが、実行については町全体への浸透が不十分だと思ひます。制度の内容と活動状況について伺います。

文章でなく言葉で

町長 リベロ制度は、自治会長を対象に町の管理職が対応しております。担当自治区に出向き、連絡を取り合つて諸問題に的確に対応する事、町の施策方針などの情報を文章ではなく、言葉で伝える役目を果しております。別に町には出前講座があり、要望のあつたところへは出向きます。利用回数は少ないですが、大いに活用してほしい。

防犯対策について

大多和 正之 議員

議員 不審者情報のまじこみメールを地域の方々に共有できるように、役場システムに構築する考えがあるか伺います。また防犯カメラについて、前向きに検討すると話がありました。一日も早く設置を要望します。

防犯カメラは 新年度実施

町長 不審者情報として、情報があった時は速やかに防災行政無線、メール配信で情報配信しています。今後具体的に検討したいと思いません。防犯カメラは新年度に実施したいので、補助制度や他町村の実態を調査します。



海岸侵食・津波対策について

議員 海岸の土塁工事も進んでいますが、海岸侵食が急激に進み深刻な状況なので、土塁の補強、護岸が必要だと思うが、今後の復旧計画を伺います。

国の直轄事業として

町長 白潟地区については、アンダーパスの辺りを除いて土塁は出来ています。南白亀地区は、有料道路を嵩上げされる予定で28年目標と聞いています。南白亀川嵩上げは来年度に完了する予定です。また、海岸侵食は国の直轄事業として採択して頂くように要望しております。



幸治海岸の浜崖

教育設備について

議員 白潟小学校のプールの漏水を発端とした教育設備の老朽化が進行しています。

今後、本町の教育設備も運営や改修を視野に入れた有効活用を検討していくべきだと思いますが伺います。

また、時代の変化に伴い、教室へのエアコン設置が急務だと思いますが見解を伺います。

エアコン設置の 方向で

町長 施設の有効活用で

ですが、白子中学校のプールの深さを改修し、小学校のプールと兼用していく予定です。

また、エアコンの設置ですが厳しい財政状況の中で、整備費用・ランニングコスト等を考慮して設置する方向で考えています。

教育方針について

議員 白子町も60周年を向かえ、記念になる事業や白子町の良さを感じる教育方針を行う考えがあるか伺います。

地域の方と一緒に

教育長 60周年の中で、子供達が取り組める事は考えていません。地域の方と一緒に運動会等の行事は行っている。今後も続けて行きたいと思いません。26年度末に発行した、すばらしい白子

町の本を中学校、小学校でも活用したいと思いません。小学校低学年には町探検、白子町自慢等を学

習の中に取り入れていきます。

定住対策について

議員 住宅新築奨励制度、リフォーム補助制度、若者マイホーム奨励用地等、定住対策を白子町は積極的に行っています。各制度で年齢制限、建物規制等様々な問題があり、制度が有効に活用されていないと思うが、今後制度改正する考えがあるか伺います。

使いやすい制度に

町長 年齢要件、建築要件等を適切に判断して、今後、各制度が使いやすい制度に見直しを含め検討したいと思いません。



中里地区の若者マイホーム用地

介護保険 在宅介護などへの支援策を

市川 隆子 議員

議員 家族の介護のために仕事を辞める、介護離職、働きながら介護をする介護社員、自営業も同じです。

国の施策で、病院を出され介護施設にも入れない高齢者が増加し、在宅介護や老々介護も増えてきます。

10 年後には、高齢化のピークを迎えるため、介護の充実は待ったなしです。特に在宅での介護は、サービスを使っても負担が大きくなりますが、支援策について伺います。

充実に努める

町長 今後、高齢化率が上昇することに伴い、老々介護や重度介護者の増加が見込まれており、現在の在宅サービスでは支援が不十分です。毎日、必要に応じて複数回利用

可能なサービスの普及が必要になります。

日中、夜間を通じ訪問介護と訪問看護を提供して、定期巡回、随時対応のサービスが行われるよう、事業者に対して働きかけをしているところで

社会福祉協議会や地域包括支援センターと連携して、在宅介護の充実に努めていきたいと思えます。

低米価対策 引き続き要望を

議員 昨年の県産米は 60 キロで 1 万円を割りました。原因は、市場に大量の余剰米が発生し、国はこの余剰米の処理に手を付けず放置したため、新米の時期に投げ売りが起こり、生産者米価の低価格が引き起こされました。

た。さらに米の消費も減少しています。

昨年、長生郡町村長名で米価下落による緊急対策を求める要望書を出しましたが、引き続き対策をとるよう要望しないのか伺います。



所得確保できる 政策を要望

町長 政府に対し要望はしていますが、余ったものを作りすぎれば、安くなるのが市場原理であり、飼料米への対応を奨励してきました。その結果過剰作付が解消したことは何よりだと思っております。

今後は、近隣市町村と連携を図り、所得を相応に確保できるように政策

を要望していききたいと思っております。

小・中学校普通教室 にエアコン設置を

議員 今年の夏は、教室の室温調査をするということでしたが、実施したのか。結果はどうだったのか伺います。

また、文部科学省の学校環境衛生管理マニュアルでは、学習に望ましい気温は 25 度から 28 度とされていますが、この基準に適合していたのか伺います。



部活動に励む白湯小児童

ランニングコスト 等を考慮し検討

教育長 室温調査は、6 月末から 7 月 17 日まで、9 月 1 日から 16 日まで実施しました。

場所は、教室の廊下側 1ヶ所で 1 日 2 回、午前 10 時半と午後 1 時半に測定しました。

午前、午後どちらか室温が 28 度を超えた日は、学校により差があります。7 月は 3 日から 5 日、9 月が 3 日から 8 日という結果です。

学校環境衛生管理の範囲から言えば、28 度を超え、最高で 32 度の日がありますので、望ましいという環境とは若干差があるという状況です。

今後、ランニングコスト等を考えた中で検討していきます。

議員 熱中症は、子どもの命にもかかわる問題なので、早期実現にむけて検討することを要望します。

決算認定と一般会計補正 予算等に対する質疑応答

白子町個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について

議案第1号

【市川隆子 議員】

議員 マイナンバー制度が実施され、今後は個人番号により健康保険や年金など、多くの情報がネットワークで照会できるようになるとのことですが、セキュリティ面について伺います。

総務課長 カードを紛失

したり番号を知られた場合でも、税や福祉などの情報は機械上切り分けができており、全部知られることはないようになっています。

議員 機械操作等は担当職員が携わると思いますが、一人なのか複数で担うのか伺います。

総務課長 体制についてはまだ確定していません。

打ち込み等も、間違いがあれば情報漏えいにつながることもあるので、十分対応していきたいと思っています。

【酒井良信 議員】

議員 利用目的以外の個人情報への利用は制限されているが、人の生命、身体又は財産の保護のため、本人の同意を得れば利用できるかとされています。

町内では空き家が多くなっていますが、空き家対策委員会を設置し、情報機関の立ち上げは可能かどうか伺います。

町長 特定情報の利用制限がある現在の制度では、情報機関の設置は難しいと思います。

空き家対策については、別に対策法が制定されました。本町だけでなく郡市一体となって取り

組み、まずは担当部署での会議を進めていきます。

白子町手数料条例の一部を改正する条例の制定について

議案第2号

【市川隆子 議員】

議員 高齢者世帯などでは、番号の重要性を認識されていないので、紛失が考えられます。こうした高齢者中心の対策はどのように考えているか伺います。

総務課長 広報誌、回覧

や説明会等を催し、番号の重要性を周知するなどして、高齢者にも対応していきたいと思えます。現時点では、具体策や案はありませんが、今後考えていきたいと思えます。

一般会計第2回歳入歳出補正予算について

議案第5号

防災士養成講座負担金について

【宗島理仁 議員】

議員 防災士養成講座負担金について、詳細を伺います。

総務課長 防災対策にか

かわる職員養成講座です。現在、町職員10名が役場内の自衛消防隊に所属しています。その職員と事務局の合計11名が2日間の講習会に参加する費用です。



保健師の採用について

【梅澤哲夫 議員】

議員 保健師設置の予算について、保健師の人数が減っているようですが、業務を行う上で問題がないのか伺います。

また、不足分を補うた

めの方策を伺います。

町長 保健師にかかる予算ですが、本年3月に突

然2名の保健師が退職しました。新規採用で相応に仕事を覚えたところで退職で、とても残念です。業務に支障が出ないよう、臨時保健師を必要に応じてお願いするなどの対応しております。新規採用で募集をしているところですが、なかなか確保が難しいところです。

マイナンバー整備事業・臨時保育士について

【市川隆子 議員】

議員 社会保障税番号制度事業のシステム改修等の予算は、国からの補助金では賄いきれないと聞きますが、町の費用負担について伺います。

総務課長 マイナンバーにかかわるネットワーク関係の整備で約1千300万円の補正です。

費用については、全額が国庫補助対象ではなく、約半分程度が交付税対象と聞いています。

議員 臨時保育士の雇用ですが、地方公務員法で6カ月で更新、最長1年



が国の認識です。しかし、この仕事の性格、臨時の方の状況等も踏まえて雇用期間を決めていただきたいと思いますが、見解を伺います。

町長 地方公務員法により対応しますが、保育士も不足しています。その時々々の状況を踏まえ、保育業務に支障のないように状況判断をしています。

平成26年度白子町一般会計歳入歳出決算認定について

認定第1号

【宗島理仁 議員】

議員 白子町の第2次行財政改革プランについて、26年度は目標年度ですが達成出来たのか伺います。

また、第3次行財政改革プランの進捗状況と具体的な目標値はどのようなものか伺います。

町長 経常収支比率と人件費比率は、目標値より上回っていますが、適正の範囲内であると思っています。

また、新たなプランは、26年度までの様々な動向を見て策定していきます。

【板倉正道 議員】

議員 財産管理費について伺います。関保育所跡地は、現在空き地になっています。人口増対策の一環として、若者マイホーム事業の候補地として有償で分譲し、空き地を有効活用すべきと思いますが考えを伺います。

町長 現状は空き地です。場所的には駐在所の隣で役場や小学校も近く、住居地としては好適地だと思えます。人口増対策として、有償での払い下げも一つの方法だと思いますので、検討いたします。

【今関勝巳 議員】

議員 昨年の決算審査特別委員会の報告書に町税等の不納欠損処理は、適正な判断で処理し、収納率向上を図った中で、健全な会計運営に努められたいとの趣旨を述べています。その関係で大幅に

アップしたのか伺います。

町長 法的な取り組みをし、金額が上がったところですが、現在、副町長を先頭に滞納対策に取り組んでいます。

税務課長 町で定めている町税等の滞納処分執行停止にかかる基準に基づき、適正に調査し不納欠損したところです。

議員 25年度は、県内において収納率、滞納率ともに下位でありましたが、26年度は昨年から比べると向上しております。副町長、税務課、管理職の皆さんは大変だと思えます。今後も活動を続け、少しでも徴収率が上がっていきばと思いますので、よろしくお願いたします。

【酒井良信 議員】

議員 南白亀川は水質の悪化、砂やヘドロの堆積によって深刻な状況になっています。宮後橋から上流は船外機も使用できません。町は南白亀川の適正な管理をする責務があると思いますが、南

白亀川の浚渫（しゅんせつ）の実施について考えを伺います。

町長 河川管理は県の管轄ですが、私も船でありませんが、私も船でありませんが、宮後橋付近で進めなりましたが宮後橋付近で進めなりました。浚渫は必要だと思います。予算の関係で難しい面もありますので、県に対し少しずつお願いしていきます。

議員 平成27年度以降、南白亀川の状況改善のため、必要な予算と知恵をもって取り組んでいただけるよう希望いたします。



【大和秀一 議員】

議員 地方交付税について伺います。歳入の約四分の一の割合を占める交付税ですが、多くの事業がこれを財源として進められている中で、後年度の交付税措置で賄うという方法がいくつかとられています。これについての考え方、進め方について

て伺います。

町長 交付税の予算は、当初少なめに見積もりまします。その後、事業が具体化したときに交付税、起債、補助金などの財源で進めるかを精査します。

本定例会で可決いただきましたが、防災行政無線デジタル化更新事業のように、国庫補助金が減額されたため県と協議を重ねた結果、有利な交付税措置のある起債へと組み替えていくという方法をとるようになります。実は、このようなことはあまりオープンにされていない部分であり、難しいところですが、多くの財源を確保できるように努力、工夫をしています。

【市川隆子 議員】

議員 町では、病児保育や一時預かり事業など多くの子育て支援をしていますが、なかなか定住に結びつきません。こうした支援の内容を、外に向けて積極的に発信すべきだと思えますが、町の対応について伺います。

町長 確かにPR、発信が下手だとかホームページのレベルが低いなどの話を聞きますので、もう少しいいものをと努力しています。まだ十分ではありませんが、様々な工夫はこれからもしていきたいと思っております。

議員 税法上、本税を滞納すると延滞金が付きませんが、延滞金の納入方法について伺います。

税務課長 分割納付の方は、本税優先で本税から収めていただいております。一括納付の場合は、個々の実情に応じて対応しています。

平成26年度白子町後期高齢者事業特別会計歳入歳出決算認定について
認定第3号

【市川隆子 議員】
議員 保険料の普通徴収の方は何人くらいなのか伺います。
住民課長 普通徴収対象者は平成25年度で口座振替が123名、自主納付が335名です。年金の

天引きは1,658名で全体の約78%、ほとんどが特別徴収対象者です。
議員 普通徴収の方からは、収入未済額、不能欠損額が出ていますが、この方々の保険証の交付状況について伺います。



平成26年度白子町介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について
認定第4号

【市川隆子 議員】
議員 介護給付費が主な支出になりますが、この間給付費がどのくらい増えているのか伺います。
保健福祉課長 平成26年度10億9千7百万円余り

で、24年から比較すると47%増になっています。
議員 保険料を滞納するとペナルティーがあります。ペナルティーが課せられるのか伺います。

保健福祉課長 1年間滞納すると、サービス利用時の支払方法が現物給付から償還払いになります。1年6カ月滞納すると、保険給付の一時差止め、差止め額から滞納保険料を控除します。2年以上滞納すると、利用者負担割合の引き上げ、高額介護サービス費等の支給停止になります。



こんなことが決まりました
定例会(第3回)
議案の内容

議案内容

【議案第1号】
白子町議会会議規則の一部を改正する規則の制定について(可決)

■ 社会情勢の変化に伴い、若い女性の地方議会への参画が予想されることから、欠席理由に出生を位置付け、所要の改正を行うものです。

【議案第1号】
白子町個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について(可決)

■ 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律(番号法)が制定されたことに伴い、所要の整備を行うものです。

【議案第2号】
白子町手数料条例の一部を改正する条例の制定について(可決)

■ 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律(番号法)が制定さ

れたことに伴い、個人番号カード等の再発行に関する手数料について定める必要が生じたことから、所要の整備を行うものです。



防災行政無線

【議案第3号】
防災行政無線屋外拡声子局デジタル化更新工事請負契約の締結について(可決)

■ 防災行政無線屋外拡声子局デジタル化更新工事請負契約の締結について承認を求めます。

【議案第4号】
古所排水機場建設工事請負契約の締結について(可決)

■ 古所排水機場建設工事請負契約の締結について承認を求めます。

【議案第 5 号】
平成 27 年度白子町一般会計第 2 回歳入歳出補正予算について（可決）

■ 一般会計予算の歳入歳出それぞれ 1 千 1 万 4 千 5 百 5 十 円 を 追 加 し よ う と す る も の で す。

【議案第 6 号】
平成 27 年度白子町国民健康保険事業特別会計第 1 回歳入歳出補正予算について（可決）

■ 国民健康保険会計予算の歳入歳出それぞれ 1 千 7 万 5 千 6 百 円 を 追 加 し よ う と す る も の で す。

【議案第 7 号】
平成 27 年度白子町介護保険事業特別会計第 1 回歳入歳出補正予算について（可決）

■ 介護保険会計予算の歳入歳出それぞれ 2 千 5 百 7 万 1 千 3 百 円 を 追 加 し よ う と す る も の で す。



決算認定

※詳細は広報しらこ 11 月号をご参照ください。

【認定第 1 号】

平成 26 年度白子町一般会計歳入歳出決算認定について

【認定第 2 号】

平成 26 年度白子町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について

【認定第 3 号】

平成 26 年度白子町後期高齢者事業特別会計歳入歳出決算認定について

【認定第 4 号】

平成 26 年度白子町介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について

【認定第 5 号】

平成 26 年度白子町休養施設事業特別会計歳入歳出決算認定について

【認定第 6 号】

平成 26 年度白子町ガス事業特別会計歳入歳出決算認定について

監査報告

平成 26 年度白子町一般会計及び 5 事業特別会計の決算認定に当たり、9 月 16 日の本会議場において、吉井清代表監査委員より、一般会計及び 5 事業特別会計ともに、計数は正確であり、附属書類等は関係法令に準拠して作製されており、予算執

行は適正と認められると監査報告がありました。



町議会を傍聴しましょう。

次の定例会は 12 月 11 日～15 日の予定です

詳しいことは議会事務局へ。TEL 33-2169 / FAX 33-4132
白子の議会についてご意見、ご感想をお寄せ下さい。

編集後記

日本全土がわきにわたるラグビーワールドカップ。目標の 8 強進出は惜しくも逃しましたが、選手達のたゆまぬ努力があったからこそその快挙であろう。

TPP 問題をめぐる国会審議も、来年の通常国会以降になる見通し。日本の産業、農業も大きく変わろうとしています。

地方創生も待ったなしの戦略創りがせまっています。我々議会人も行政と一体となり、白子町の未来への飛躍を目指し、策定に参画していきたいと思えます。

白子町議会議員も 12 月には任期を迎えます。その後は、広報委員会も新体制になります。今後も読みやすい紙面づくりに取り組んでまいります。これからもご支援、ご協力をお願いいたします。

板倉 正道